

ダンガル・ラムシュワー研究員（ネパール）



はじめまして。私はネパールから来ましたダンガル・ラムシュワーと申します。ネパールでは自治省の防災課で課長として業務を行っています。私が所属する自治省は、ネパールにおいて防災を担当する主要な機関となっています。また、関連機関である防災担当部署や国家緊急オペレーションセンター等を通じて、主にその責務を果たしています。まず、防災担当部署は防災業務における国家および国際業務を通じて、主に防災に関する政策や計画の策定を行っています。

この部署において、私は政策や計画の立案に関する活動等に活発に参加し、国内外の会議、ワークショップ、セミナーやトレーニングの運営や出席も行っています。

さて、ネパールはその地理的特徴から、近隣諸国と比較しても最も災害が多発する国の一つです。ネパールでは、地滑りや洪水、火災、落雷、寒波などが頻繁に発生し、毎年平均 300 人の人命が奪われ、官民間わず多くの財産が失われています。また、ネパールは地震被害についても大きな課題となっています。一方で、無秩序無計画な都市開発により、都市型災害のリスクが増大しています。包括的な防災へのアプローチ、絶え間ない緊急管理システムの開発、災害リスク軽減の活動の優先度あげること、同分野での国際協力の促進などが急務であるといえます。

ADRC の客員研究員プログラムは、防災の研究を実践するための大変素晴らしい機会です。最後に、このような素晴らしい機会をいただいた日本政府に感謝を申し上げ、合わせてネパールの自治省においてもお礼を申し上げたいと思います。